

2022年12月3日

内閣総理大臣 岸田文雄様  
法務大臣 齋藤健様  
法務省人権擁護局長 松下裕子様

## 杉田水脈議員の差別発言に関する公開要請文

私たちマイノリティ女性フォーラムは、日本のマイノリティである被差別部落民、アイヌ民族そして在日コリアンの女性たちの尊厳と人権のために活動をしている NGO です。私たちは日本において、民族あるいは出自を理由とする歴史的な差別に置かれてきた集団です。同時に、私たちはこれらマイノリティ集団に属する女性として、複合的な差別や困難に直面してきました。

11月30日の参議院予算委員会で塩村あやか議員は、杉田水脈議員が2016年2月開催の国連女性差別撤廃委員会日本審査に関連して、アイヌ女性や在日コリアン女性を貶める差別的な書き込みを自身のブログで行っていることについていくつもの質問をしました。そこに書かれているのはまさに私たちのことです。杉田水脈氏が審査会場に来て、あのような発言を書き込んだことを私たちは当時から認識していました。それら発言にどれだけの恐怖と怒りを覚えたことか、今もはっきりと記憶しています。今回、あらためて国会の場で、総理大臣や関係閣僚がいる前で、塩村議員の質問に対して応じた杉田議員の不誠実な回答を目の当たりにして、あらためて強い怒りと憤りを覚えます。

マイノリティ女性として抱える生きづらさの根元に複合的な差別の構造があることを明らかにしたのは、これまで数回にわたり開催された国連女性差別撤廃委員会の日本審査でした。杉田水脈議員のブログの発言は、日本の植民地支配により土地や資源を奪われ、言葉を奪われ、アイデンティティを否定され、力づくで日本に「同化」を強いられてきた私たちマイノリティの歴史を侮るものです。さらには、国内では認知すらされないマイノリティ女性の問題を、国際人権基準に照らしながら普遍的かつ明快な言葉で明らかにする国連人権条約審査への思慮のない挑戦でもあります。

さらに私たちは、杉田議員のブログの発言について一般論で考えればヘイトスピーチに該当する可能性があるかと問う塩村議員の質問に、松下裕子法務省人権擁護局長が個別具体的な事情が分からないので判断できないと答えたことに抗議をします。

私たちだけではなく、多くの「社会的弱者」に対して繰り返されてきた杉田水脈議員の差別的で侮蔑的な言動と、それを問題として厳しく問うてこなかった自民党政府に対して、私たちは次のような対応を強く求めます。

1. 杉田水脈議員を総務政務官の職から即時解任するよう求める。
2. 杉田水脈議員は侮辱的な発言を行った相手であるマイノリティ女性たちに直接謝罪をすること。  
さらに、当該ブログのページを削除し、削除した理由を自身のブログで正確に説明、公表すること。
3. 松下裕子人権擁護局長に、ブログでの杉田水脈発言に対する見解を、「ヘイトスピーチ、許さない。」とする法務省の立場から、あらためて明確に示すように求める。

以上

同報： 杉田水脈衆議院議員

マイノリティ女性フォーラム

構成団体：部落解放同盟中央女性運動部

アイヌ女性会議メノコモシモシ

アプロ・未来を創造する在日コリアン女性ネットワーク

反差別国際運動 (IMADR)